

区市町村 (No)	1 検査方法及び対象										2 受診率(喀痰+胸部エックス線併用)			
	胸部エックス線 + 喀痰細胞診	対象	胸部エックス線	対象	喀痰細胞診	対象	胸部CT	対象	その他 (検査方法名)	対象	検診 対象者数	受診者数	受診率	全国 比較
1	○	40歳以上									15,328	1,554	10.1%	未滿
2	○	40歳以上									34,381	13,477	39.2%	以上
3	○	40歳以上で 喫煙指数600 以上等									64,213	9,314	14.5%	未滿
4	○	20歳以上									100,201	11,457	11.4%	未滿
5	《未実施》													
6			○	40歳以上										
7	○	40歳以上									84,117	322	0.4%	未滿
8	○	40歳以上									151,503	1,921	1.3%	未滿
9	○	40歳以上					○ 胸部ヘリカルCT 及び 喀痰細胞診 併用	40歳以上			115,531	4,866	4.2%	未滿

区市町村 (No)	2 受診率(喀痰細胞診のみ)				2 受診率(胸部エックス線のみ)				2 受診率(胸部X線+CT+喀痰細胞診)				分 析	対策1	
	検診 対象者数	受診者数	受診率	全国 比較	検診 対象者数	受診者数	受診率	全国 比較	検診 対象者数	受診者数	受診率	全国 比較		受診率が低い集団に対する 対策	都への要望
1													・年齢階級別に、受診率が低い年齢階級がある。	・実施医療機関を増やし、受診しやすくする。	
2															
3													・年齢階級、地域によって、受診率に違いはない。		
4													・年齢階級別に、受診率が低い年齢階級がある。	・受診率を年代別に算出し、特に受診率が低いと見られる年代には受診勧奨を行う。 ・受診勧奨ハガキの送付対象者を従来(40～75歳の5歳刻み)よりも拡大する。	
5															
6					63,419	610	1.0%	未滿					・年齢階級、地域によって、受診率に違いはない。		
7													・年齢階級、地域によって、受診率に違いはない。		
8													・年齢階級、地域によって、受診率に違いはない。		
9									喀痰+CT 併用検査 115,531	1,317	1.1%	未滿	・年齢階級別に、受診率が低い年齢階級がある。	・対象者全員への個別通知。 ・未受診者への受診勧奨と状況把握調査。 ・普及啓発も入れた分かりやすい検診案内。	

区市町村 (No)	対策2		集計作業(検診対象者)		集計作業(受診者の情報管理)					3 要精検率 (喀痰+胸部エックス線併用)			3 要精検率(喀痰のみ)			3 要精検率(胸部エックス線のみ)		
	受診率向上に向けた全体的な 対策	都への要望	台帳作成	均等な 受診勧奨	性・年齢 階級別	受診者別 データ	検診機関別	過去3年間 受診歴別	過去3年間 受診歴記録	要精検者数	要精検率	全国 比較	要精検者数	要精検率	全国 比較	要精検者数	要精検率	全国 比較
1					○	○	○		○	103	6.6%	高い						
2			○	○	○	○	○	○	○	4,312	32.0%	高い						
3	・受診勧奨(受診券)の個別発送を継続する。 ・がん検診の啓発チラシを同封する。			○	○	○	○		○	431	4.6%	高い						
4					○	○				625	5.5%	高い						
5																		
6	・22年度から対象者に個別通知で受診勧奨を行う。			○	○	○	○		○						59	9.7%	高い	
7	・がん検診リーフレット・個別通知。 ・がんパネル展の開催。		○	○	○	○	○			7	2.2%	未満						
8	・検診車による集団検診から医療機関による個別検診への切替を検討している。	・受診勧奨のポスターを作成し、公共交通機関等に掲示してほしい。	○		○	○	○			81	4.2%	高い						
9			○	○	○					695	14.3%	高い						

区市町村 (No)	3 要精検率 (胸部X線+CT+喀痰細胞診)			分析	(1)集計作業(要精検率)			撮影方法			②-1 胸部エックス線精度管理						
	要精検者数	要精検率	全国 比較		要精検率 把握	性・年齢 階級別	検診機関別	間接撮影	直接撮影	デジタル 撮影	間接撮影		直接撮影	デジタル撮影	濃度・ コントラスト・ 鮮鋭度	2名医師読影 (内1名、 経験医)	比較読影
											120kV以上 管電圧	希土類 蛍光板	管電圧・ 希土類シス	高圧撮影			
1				・各がんの有病率の高い年齢階級の受診者が多い。	○	○	○		1	4			1/1	4/4	5/5	5/5	5/5
2				・各がんの有病率の高い年齢階級の受診者が多い。 ・「事業評価のための点検表」において、項目が満たされていない医療機関(検査委託機関)がある。 ・陽性反応適中度が低い医療機関がある。 ・各検診実施機関の「要精検」の判定基準が確認できていない。	○	○	○		3	2			3/3	2/2	5/5	5/5	4/5
3				・「事業評価のための点検表」において、項目が満たされていない医療機関(検査委託機関)がある。	○	○				5				5/5	5/5	3/5	4/5
4				・各がんの有病率の高い年齢階級の受診者が多い。 ・「事業評価のための点検表」において、項目が満たされていない医療機関(検査委託機関)がある。	○	○			3	2			3/3	2/2	5/5	5/5	5/5
5																	
6				・各がんの有病率の高い年齢階級の受診者が多い。	○	○	○			1				1/1	1/1	2/2	2/2
7				・各がんの有病率の低い年齢階級の受診者が多い。 ・がん発見率が低い。 ・「事業評価のための点検表」において、項目が満たされていない医療機関(検査委託機関)がある。	○	○	○			2				2/2	2/2	2/2	2/2
8				・該当なし	○	○	○		1				1/1		1/1	1/1	1/1
9	69	5.2%	高い	・「事業評価のための点検表」において、項目が満たされていない医療機関(検査委託機関)がある。	○	○	○		1	1			1/1	1/1	2/2	2/2	2/2

区市町村 (No)	②-2 喀痰細胞診精度管理					②-3 喀痰細胞診精度管理					4 受診者への説明(区市町村実施)				4 受診者への説明(医療機関実施) (満たしている機関/検診実施機関)			
	検査を 他検査機関 委託	喫煙指数 600以上か、 6ヶ月内血痰	備考	有効痰採取 方法説明、 容器配布	3日の畜痰か 3日の 連続採痰	採痰容器 回収徹底	直接塗抹、 パパニコロウ 染色	経験を有する 医師及び 臨床検査技師	2枚以上スライド、 2名以上の技師 スクリーニング	判定基準と 指導区分	検診方法	精検受診の 必要性	精検方法と 内容	個人情報 取り扱い	検診方法	精検受診の 必要性	精検方法と 内容	個人情報 取り扱い
1	3/5	0/5	・40歳以上はすべて対象(本人申し出による実施も認めている)	5/5	5/5	5/5	4/4	4/4	2/4	3/4					4/5	1/5	4/5	3/5
2	1/5	5/5		5/5	5/5	5/5	5/5	5/5	3/5	5/5					4/5	5/5	5/5	5/5
3	0/5	4/5		5/5	5/5	5/5	5/5	5/5	3/5	5/5					5/5	3/5	5/5	5/5
4	5/5	0/5	・20歳以上で喫煙指数600以上、6ヶ月以内に血痰のあった者	5/5	5/5	4/5	3/3	3/3	2/3	3/3					3/5	3/5	4/5	4/5
5																		
6																		
7	2/2	0/2		2/2	2/2	1/2	1/1	1/1	1/1	1/1								
8	0/1	1/1		1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1					1/1	1/1	1/1	1/1
9	1/2	2/2		2/2	1/2	2/2	2/2	2/2	2/2	2/2					1/2	1/2	2/2	1/2

区市町村 (No)	5 精検受診率と受診勧奨(喀痰+胸部エックス線併用)					5 精検受診率と受診勧奨(喀痰のみ)					5 精検受診率と受診勧奨(胸部エックス線のみ)					5 精検受診率と受診勧奨(胸部X線+CT+喀痰細胞診)				
	精検 未受診者数	精検結果 未把握者数	精検 受診者数	精検受診率	全国 比較	精検 未受診者数	精検結果 未把握者数	精検 受診者数	精検受診率	全国 比較	精検 未受診者数	精検結果 未把握者数	精検 受診者数	精検受診率	全国 比較	精検 未受診者数	精検結果 未把握者数	精検 受診者数	精検受診率	全国 比較
1	13	10	80	77.7%	以上															
2	0	4,273	39	0.9%	未滿															
3	66	35	330	76.6%	以上															
4	0	441	184	29.4%	未滿															
5																				
6										0	16	43	72.9%	以上						
7	0	2	5	71.4%	以上															
8	3	6	72	88.9%	以上															
9	0	416	279	40.1%	未滿										0	60	9	13.0%	未滿	

区市町村 (No)	分析	対策1		対策2		対策3	集計作業(精検受診率)		
		精検結果把握の方法について 対策	都への要望	精密検査を受けていない集団、 また受けない理由について 明らかにし、それに対する対策	都への要望	精検結果把握の方法について 特別な対策	精検受診率 把握	性・年齢 階級別	検診機関別
1						平成20年度から検診実施医療機関から要精検者に対し「がん検診情報提供書兼結果通知書」を交付している。この通知書により精検実施機関から検査結果を報告してもらっている。	○	○	
2	・結果の把握方法(情報提供体制)はあるが、医療機関からの情報提供が得られない場合がある。	・一次検診受診時での精検の必要性、検査方法の説明の徹底。 ・検査委託先からの情報提供、精検未受診者の把握・勧奨等精検結果が確実に得られるよう医療機関との連携を図るため、検討会・検診体制の構築が必要である。					○	○	○
3							○	○	
4	・結果の把握方法(情報提供体制)はあるが、医療機関からの情報提供が得られない場合がある。	・要精検者のうち、精密検査の結果が区に来ていない者について、一次検診を行った医療機関に対し、精密検診結果の調査を行う。					○	○	
5									
6							○	○	○
7						・医療機関との契約書に精検結果把握について明文化している。	○		
8							○	○	○
9	・平成21年6月よりがん検診システムを導入したばかりであるため。	・導入した検診システムを使用して結果をデータ管理し、受診勧奨、状況把握通知を送付。その後返信結果でフォローする。					○		

区市町村 (No)	集計作業(精検受診率と受診勧奨)				集計作業(精検結果未把握率)			6 がん発見率 (喀痰+胸部エックス線併用)			6 がん発見率 (喀痰細胞診のみ)			6 がんの発見率 (胸部エックス線のみ)			6 がんの発見率 (胸部X線+CT+喀痰細胞診)			分析	
	精検 未受診率 把握	性・年齢 階級別	検診機関別	受診勧奨	未把握率 把握	性・年齢 階級別	検診機関別	がん 発見者数	がん 発見率	全国 比較	がん 発見者数	がん 発見率	全国 比較	がん 発見者数	がん 発見率	全国 比較	がん 発見者数	がん 発見率	全国 比較		
1					○			2	0.13%	以上											
2					○	○	○	2	0.01%	未満											・精検受診率が許容値と比較して低い。
3	○	○			○			11	0.12%	以上											
4						○		1	0.01%	未満											・精検受診率が許容値と比較して低い。
5																					
6	○	○	○	○	○	○	○						1	0.16%	以上						
7								0	0.00%	未満											・受診者の年齢階級で、有病率の低い年齢階級の受診者が多い。 ・他の検診実施機関と比較して、がん発見率が特に低い検診実施機関がある。 ・がんであったものがいなかった。
8	○	○	○		○	○	○	0	0.00%	未満											・受診者の年齢階級で、有病率の低い年齢階級の受診者が多い。
9								0	0.00%	未満							0	0.00%	未満		・受診者の年齢階級で、有病率の低い年齢階級の受診者が多い。 ・精検受診率が許容値と比較して低い。



区市町村 (No)	集計作業(がん発見率)				集計作業(早期がん割合)				7 陽性反応適中度 (喀痰+胸部X線併用)		7 陽性反応適中度 (喀痰のみ)		7 陽性反応適中度 (胸部X線のみ)		7 陽性反応適中度 (胸部X線+CT+喀痰細胞診)		分析	集計作業(陽性反応適中度)				
	がん発見率 把握	性・年齢 階級別	検診機関別	受診歴別	性・年齢 階級別	検診機関別	受診歴別	陽性反応 適中度	全国 比較	陽性反応 適中度	全国 比較	陽性反応 適中度	全国 比較	陽性反応 適中度	全国 比較	陽性反応 適中度把握		性・年齢 階級別	検診機関別	受診歴別		
1	○	○						1.94%	以上										○			
2	○	○	○					0.05%	未満									・がん発見率が低い。 ・精検受診率が低い。	○	○	○	
3	○	○						2.55%	以上										○	○		
4	○							0.16%	未満									・がん発見率が低い。 ・「事業評価のための点検表」において、 項目が満たされていない医療機関(検査 委託機関)がある。 ・精検受診率が低い。	○			
5																						
6	○	○	○									1.69%	以上						○	○	○	
7	○		○					0.00%	未満									・がん発見率が低い。 ・「事業評価のための点検表」において、 項目が満たされていない医療機関(検査 委託機関)がある。 ・がんであるものがいなかった。	○			
8	○	○	○					0.00%	未満									・がん有病率が高い年齢階級の受診者 が少ない。	○	○	○	
9	○							0.00%	未満					0.00%	未満			・がん有病率が高い年齢階級の受診者 が少ない。 ・がん発見率が低い。 ・「事業評価のための点検表」において、 項目が満たされていない医療機関(検査 委託機関)がある。 ・精検受診率が低い。	○			

区市町村 (No)	課題等	備考	備考(点検表)	備考欄 (町村 5年分受診者数)
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・がん検診の必要性周知と受診率の向上</li> <li>・検診機関精度管理の検討(喀痰細胞診)</li> <li>・喀痰細胞診の対象検討</li> <li>・一次検診受診時の説明</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・H20年度よりCTは中止し、指針通りの方法に変更。</li> </ul>		
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・検診機関精度管理の検討(撮影・喀痰細胞診)</li> <li>・一次検診受診時の説明</li> <li>・要精検受診結果の把握</li> <li>・検診機関の要精検判定基準の把握</li> </ul>			
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・がん検診の必要性周知と受診率の向上</li> <li>・検診機関精度管理の検討(撮影・喀痰細胞診)</li> <li>・一次検診受診時の説明</li> </ul>			
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対象年齢の検討</li> <li>・がん検診の必要性周知と受診率の向上</li> <li>・検診機関精度管理の検討(喀痰細胞診)</li> <li>・喀痰細胞診の対象検討</li> <li>・一次検診受診時の説明</li> <li>・要精検受診結果の把握</li> </ul>			
5	《未実施》			
6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・検診方法の検討</li> <li>・がん検診の必要性周知と受診率の向上</li> <li>・一次検診受診時の説明</li> </ul>			
7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・がん検診の必要性周知と受診率の向上</li> <li>・検診機関精度管理の検討(喀痰細胞診)</li> <li>・受診者特性の検討</li> </ul>			
8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・がん検診の必要性周知と受診率の向上</li> <li>・受診者特性の検討</li> </ul>			
9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・検診方法の検討</li> <li>・がん検診の必要性周知と受診率の向上</li> <li>・検診機関精度管理の検討(喀痰細胞診)</li> <li>・一次検診受診時の説明</li> <li>・要精検受診結果の把握</li> <li>・受診者特性の検討</li> </ul>			

区市町村 (No)	1 検査方法及び対象										2 受診率(喀痰+胸部エックス線併用)			
	胸部エックス線 + 喀痰細胞診	対象	胸部エックス線	対象	喀痰細胞診	対象	胸部CT	対象	その他 (検査方法名)	対象	検診 対象者数	受診者数	受診率	全国 比較
10	○	40歳以上 (健診時に医師が 必要と認めた者)									87,142	6,115	7.0%	未滿
11	○	40歳以上									231,955	11,938	5.1%	未滿
12	○	40歳以上 (特定健診等で要 件に該当した場合)									276,500	19,184	6.9%	未滿
13	○	40歳以上									69,292	5,840	8.4%	未滿
14	○	40歳以上 (喀痰細胞診は 喫煙指数600以上)									99,521	8,092	8.1%	未滿
15	○	35歳以上									171,155	1,236	0.7%	未滿
16									○ 胸部X線+CT 及び 喀痰細胞診の 併用	40歳以上				
17	《未実施》													
18	○	40歳以上									69,969	12,039	17.2%	未滿

区市町村 (No)	2 受診率(喀痰細胞診のみ)				2 受診率(胸部エックス線のみ)				2 受診率(胸部X線+CT+喀痰細胞診)				分析	対策1	
	検診 対象者数	受診者数	受診率	全国 比較	検診 対象者数	受診者数	受診率	全国 比較	検診 対象者数	受診者数	受診率	全国 比較		受診率が低い集団に対する 対策	都への要望
10													・年齢階級別に、受診率が低い年齢階級がある。		
11													・年齢階級別に、受診率が低い年齢階級がある。	・実施予定数の増を検討している。	
12													・不明		
13													・年齢階級別に、受診率が低い年齢階級がある。	・22年度より申込み方式から受診券発送方式へ変更予定。22年度は全対象者へ送付予定。	
14													・年齢階級別に、受診率が低い年齢階級がある。 ・基本健診に胸部X線の項目がある。	・特定年齢に対する受診勧奨通知や受診票の送付等により受診を促す。 また、基本健診の胸部X線を肺がん検診に一本化する。	
15													・不明	・定期的な検診の必要性や実施日程等を区の広報誌・ホームページなどにより周知。	
16									84,150	2,770	3.3%	未滿	・年齢階級別に、受診率が低い年齢階級がある。	・広報等で受診率の低い集団へ勧奨する。	・各市区町村の受診率向上対策について補助する。
17															
18													・特になし		

区市町村 (No)	対策2		集計作業(検診対象者)		集計作業(受診者の情報管理)					3 要精検率 (喀痰+胸部エックス線併用)			3 要精検率(喀痰のみ)			3 要精検率(胸部エックス線のみ)		
	受診率向上に向けた全体的な 対策	都への要望	台帳作成	均等な 受診勧奨	性・年齢 階級別	受診者別 データ	検診機関別	過去3年間 受診歴別	過去3年間 受診歴記録	要精検者数	要精検率	全国 比較	要精検者数	要精検率	全国 比較	要精検者数	要精検率	全国 比較
10					○	○	○		○	183	3.0%	同値						
11					○		○			519	4.3%	高い						
12					○	○				1,082	5.6%	高い						
13			○		○	○	○		○	156	2.7%	未滿						
14					○	○	○		○	79	1.0%	未滿						
15			○		○	○	○			44	3.6%	高い						
16					○													
17																		
18			○	○	○	○	○		○	403	3.3%	高い						

区市町村 (No)	3 要精検率 (胸部X線+CT+喀痰細胞診)			分析	(1)集計作業(要精検率)			撮影方法			②-1 胸部エックス線精度管理						
	要精検者数	要精検率	全国 比較		要精検率 把握	性・年齢 階級別	検診機関別	間接撮影	直接撮影	デジタル 撮影	間接撮影		直接撮影	デジタル撮影	濃度・ コントラスト・ 鮮鋭度	2名医師読影 (内1名、 経験医)	比較読影
											120kV以上 管電圧	希土類 蛍光板	管電圧・ 希土類シス	高圧撮影			
10					○	○			3	1			3/3	1/1	4/4	3/4	4/4
11				・がん発見率が高い。 ・「事業評価のための点検表」において、項目が満 たされていない医療機関(検査委託機関)がある。	○	○	○		5	1			4/5	1/1	5/5	4/5	5/5
12				・各がんの有病率の高い年齢階級の受診者が多 い。 ・がん発見率が高い。	○	○			3	2			3/3	2/2	5/5	5/5	5/5
13				・各がんの有病率の低い年齢階級の受診者が多 い。 ・初回受診者(過去3年以内に各がん検診の受診 歴のない者)が少ない。 ・「事業評価のための点検表」において、項目が満 たされていない医療機関(検査委託機関)がある。	○	○	○		2				2/2		2/2	2/2	2/2
14				・各がんの有病率の低い年齢階級の受診者が多 い。 ・がん発見率が低い。	○	○	○		1				1/1		1/1	1/1	1/1
15				・「事業評価のための点検表」において、項目が満 たされていない医療機関(検査委託機関)がある。	○	○			3	2			1/3	2/2	5/5	4/5	4/5
16	115	4.2%	高い	・各がんの有病率の高い年齢階級の受診者が多 い。 ・がん発見率が高い。 ・「事業評価のための点検表」において、項目が満 たされていない医療機関(検査委託機関)がある。	○	○				1				1/1	1/1	1/1	1/1
17																	
18				・「事業評価のための点検表」において、項目が満 たされていない医療機関(検査委託機関)がある。	○		○			1				1/1	1/1	1/1	1/1

区市町村 (No)	②-2 喀痰細胞診精度管理					②-3 喀痰細胞診精度管理					4 受診者への説明(区市町村実施)				4 受診者への説明(医療機関実施) (満たしている機関/検診実施機関)			
	検査を 他検査機関 委託	喫煙指数 600以上か、 6ヶ月内血痰	備考	有効痰採取 方法説明、 容器配布	3日の畜痰か 3日の 連続採痰	採痰容器 回収徹底	直接塗沫、 パパニコロウ 染色	経験をする 医師及び 臨床検査技師	2枚以上スライド、 2名以上の技師 スクリーニング	判定基準と 指導区分	検診方法	精検受診の 必要性	精検方法と 内容	個人情報 取り扱い	検診方法	精検受診の 必要性	精検方法と 内容	個人情報 取り扱い
10	4/4	0/4	・40歳以上で喫煙指数600以上	4/4	4/4	4/4	4/4	4/4	2/4	4/4					3/4	4/4	4/4	3/4
11	5/5	5/5		5/5	5/5	5/5	1/1	1/1	0/1	1/1					5/5	5/5	5/5	5/5
12	5/5	0/5	・40歳以上で喫煙指数400以上、6ヶ月 以内に血痰のあった者	5/5	5/5	5/5	5/5	5/5	5/5	5/5	○				4/5	4/5	5/5	4/5
13	1/2	0/2	・肺がん検診申込者全員に喀痰検査 を実施している	2/2	2/2	1/2	2/2	2/2	1/2	2/2		○		○	2/2	2/2	1/2	2/2
14	0/1	1/1		1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1					1/1	1/1	1/1	1/1
15	4/5	3/5		5/5	5/5	4/5	2/2	2/2	1/2	2/2	○	○	○	○	5/5	4/5	4/5	5/5
16	0/1	1/1		0/1	0/1	1/1	0/1	1/1	0/1	1/1	○				1/1	0/1	0/1	1/1
17																		
18	0/1	0/1	・受診者の希望と問診で喫煙本数の 多い人、痰の出る人、症状のある人に 勧奨し、希望するようになった人に採痰容 器を渡している	1/1	1/1	0/1	1/1	1/1	1/1	1/1	○	○	○	○				





区市町村 (No)	分析	対策1		対策2		対策3	集計作業(精検受診率)		
		精検結果把握の方法について 対策	都への要望	精密検査を受けていない集団、 また受けない理由について 明らかにし、それに対する対策	都への要望	精検結果把握の方法について 特別な対策	精検受診率 把握	性・年齢 階級別	検診機関別
10	・精検未受診者の多い集団の特性が明らかになっていない。			・精密検査の追跡調査を充実する予定。			○	○	
11						・特になし	○		
12						・なし	○	○	
13						・特になし	○	○	○
14	・受診しない理由が明らかになっていない。			・受診勧奨通知回数が増及び未受診理由の書式による提出。			○	○	○
15	・結果の把握方法(情報提供体制)はあるが、医療機関からの情報提供が得られない場合がある。	・がん検診精度管理委員会で検討中。					○	○	
16							○		
17									
18	・特になし			・特になし	・特になし		○		○

区市町村 (No)	集計作業(精検受診率と受診勧奨)				集計作業(精検結果未把握率)			6 がん発見率 (喀痰+胸部エックス線併用)			6 がん発見率 (喀痰細胞診のみ)			6 がんの発見率 (胸部エックス線のみ)			6 がんの発見率 (胸部X線+CT+喀痰細胞診)			分析
	精検 未受診率 把握	性・年齢 階級別	検診機関別	受診勧奨	未把握率 把握	性・年齢 階級別	検診機関別	がん 発見者数	がん 発見率	全国 比較	がん 発見者数	がん 発見率	全国 比較	がん 発見者数	がん 発見率	全国 比較	がん 発見者数	がん 発見率	全国 比較	
10								0	0.00%	未満										・不明
11	○				○	○		14	0.12%	以上										
12	○	○			○	○		9	0.05%	以上										
13	○	○	○		○	○	○	7	0.12%	以上										
14	○	○	○	○	○	○	○	2	0.02%	未満										・受診者の年齢階級で、有病率の低い年齢階級の受診者が多い。 ・精検受診率が許容値と比較して低い。
15	○	○			○			0	0.00%	未満										・精検受診率が許容値と比較して低い。
16																	5	0.18%	以上	
17																				
18				○				1	0.01%	未満										・精検受診率が許容値と比較して低い。

区市町村 (No)	集計作業(がん発見率)				集計作業(早期がん割合)				7 陽性反応適中度 (喀痰+胸部X線併用)		7 陽性反応適中度 (喀痰のみ)		7 陽性反応適中度 (胸部X線のみ)		7 陽性反応適中度 (胸部X線+CT+喀痰細胞診)		分析	集計作業(陽性反応適中度)				
	がん発見率 把握	性・年齢 階級別	検診機関別	受診歴別	性・年齢 階級別	検診機関別	受診歴別	陽性反応 適中度	全国 比較	陽性反応 適中度	全国 比較	陽性反応 適中度	全国 比較	陽性反応 適中度	全国 比較	陽性反応 適中度把握		性・年齢 階級別	検診機関別	受診歴別		
10	○	○	○					0.00%	未満									・精検受診率が低い。	○	○	○	
11	○	○						2.70%	以上										○	○		
12	○	○						0.83%	未満									・特定健診と同時受診のため初回受診者が少ないと考える。	○	○		
13	○	○	○	○				4.49%	以上										○	○	○	○
14	○	○	○					2.53%	以上										○	○	○	
15	○	○						0.00%	未満									・がん有病率が高い年齢階級の受診者が少ない。 ・がん発見率が低い。 ・精検受診率が低い。	○	○		
16	○	○	○											4.35%	以上				○	○	○	
17																						
18	○		○		○	○		0.25%	未満									・がん発見率が低い。 ・「事業評価のための点検表」において、項目が満たされていない医療機関(検査委託機関)がある。 ・精検受診率が低い。	○			

区市町村 (No)	課題等	備考	備考(点検表)	備考欄 (町村 5年分受診者数)
10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・がん検診の必要性周知と受診率の向上</li> <li>・検診機関精度管理の検討(撮影・喀痰細胞診)</li> <li>・喀痰細胞診の対象検討</li> <li>・一次検診受診時の説明</li> <li>・精検未受診理由把握と精検受診率の向上</li> </ul>			
11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・がん検診の必要性周知と受診率の向上</li> <li>・検診機関精度管理の検討(撮影・喀痰細胞診)</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・直接撮影とデジタル撮影を行っている検診実施機関1カ所有り。</li> </ul>	
12	<ul style="list-style-type: none"> <li>・がん検診の必要性周知と受診率の向上</li> <li>・喀痰細胞診の対象検討</li> <li>・一次検診受診時の説明</li> </ul>			
13	<ul style="list-style-type: none"> <li>・がん検診の必要性周知と受診率の向上</li> <li>・検診機関精度管理の検討(喀痰細胞診)</li> <li>・喀痰細胞診の対象検討</li> <li>・一次検診受診時の説明</li> </ul>			
14	<ul style="list-style-type: none"> <li>・がん検診の必要性周知と受診率の向上</li> <li>・精検未受診理由把握と精検受診率の向上</li> </ul>			
15	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対象年齢の検討</li> <li>・がん検診の必要性周知と受診率の向上</li> <li>・検診機関精度管理の検討(撮影・喀痰細胞診)</li> <li>・要精検受診結果の把握</li> </ul>			
16	<ul style="list-style-type: none"> <li>・検診方法の検討</li> <li>・がん検診の必要性周知と受診率の向上</li> <li>・検診機関精度管理の検討(喀痰細胞診)</li> <li>・一次検診受診時の説明</li> </ul>			
17	《未実施》			
18	<ul style="list-style-type: none"> <li>・がん検診の必要性周知と受診率の向上</li> <li>・検診機関精度管理の検討(喀痰細胞診)</li> <li>・喀痰細胞診の対象検討</li> <li>・精検未受診理由把握と精検受診率の向上</li> </ul>			

区市町村 (No)	1 検査方法及び対象										2 受診率(喀痰+胸部エックス線併用)			
	胸部エックス線 + 喀痰細胞診	対象	胸部エックス線	対象	喀痰細胞診	対象	胸部CT	対象	その他 (検査方法名)	対象	検診 対象者数	受診者数	受診率	全国 比較
19	○	35歳以上									176,621	5,246	3.0%	未満
20	○	40歳以上									227,699	20,903	9.2%	未満
21	○	40歳以上 (区直営)									225,528	102	0.0%	未満
22	○	40歳以上									151,445	62,084	41.0%	以上
23	○	40歳以上									208,776	22,797	10.9%	未満
24	○	40歳以上 (喀痰は50歳以上 で喫煙指数600以 上の者、又は、 6ヶ月以内に血痰の あった者)									164,128	7,111	4.3%	未満
25	○	35歳以上									51,861	437	0.8%	未満
26	○	40歳以上									39,754	252	0.6%	未満
27	○	40歳以上	○	特定健診、 後期高齢者 健診対象者							50,733	275	0.5%	未満

区市町村 (No)	2 受診率(喀痰細胞診のみ)				2 受診率(胸部エックス線のみ)				2 受診率(胸部X線+CT+喀痰細胞診)				分 析	対策1	
	検診 対象者数	受診者数	受診率	全国 比較	検診 対象者数	受診者数	受診率	全国 比較	検診 対象者数	受診者数	受診率	全国 比較		受診率が低い集団に対する 対策	都への要望
19													・年齢階級別に、受診率が低い年齢階級がある。	・検診車による集団検診のため受診者数に限りがある。対策は特に立てていない。	
20													・年齢階級、地域によって、受診率に違いはない。		
21													・年齢階級、地域によって、受診率に違いはない。 (平成20年度の特健診開始により、単独で肺がん検診をすることになり受診者数が減った。)		
22															
23													・年齢階級別に、受診率が低い年齢階級がある。 ・結核検査として65歳以上は胸部X線撮影を基本健診と同時実施。	・受診対象者への周知の徹底(広報・町会回覧・個別通知)	
24													・年齢階級別に、受診率が低い年齢階級がある。		
25													・年齢階級別に、受診率が低い年齢階級がある。	・受診率が低い層は、70歳以上の高齢者である。既に医療管理下等にあることが予想され、対策を講じるのが不適当な場合がある。	・受診率50%を目標に掲げているが、実際はそれを各自治体に押し付けているだけに感じる。都はどの市区町村にも先立って、がん検診をアピールしていかなくてよいのだろうか。
26													・年齢階級、地域によって、受診率に違いはない。		
27					50,733	22,571	44.5%	以上					・年齢階級、地域によって、受診率に違いはない。		

区市町村 (No)	対策2		集計作業(検診対象者)		集計作業(受診者の情報管理)					3 要精検率 (喀痰+胸部エックス線併用)			3 要精検率(喀痰のみ)			3 要精検率(胸部エックス線のみ)		
	受診率向上に向けた全体的な 対策	都への要望	台帳作成	均等な 受診勧奨	性・年齢 階級別	受診者別 データ	検診機関別	過去3年間 受診歴別	過去3年間 受診歴記録	要精検者数	要精検率	全国 比較	要精検者数	要精検率	全国 比較	要精検者数	要精検率	全国 比較
19					○					293	5.6%	高い						
20	・区が実施する健康診査の対象となる(30歳代、40歳以上)全区民に対して、がん検診の案内を同封している。区が実施する健康診査の対象とならない人には、誕生日により3回に分けて案内を送付している。				○					1,910	9.1%	高い						
21	・区報や区HPIによる積極的広報の実施。		○		○	○	○	○	○	5	4.9%	高い						
22				○	○					684	1.1%	未満						
23				○	○	○	○		○	899	3.9%	高い						
24					○	○	○		○	62	0.9%	未満						
25			○		○	○	○		○	15	3.4%	高い						
26	・市報がん検診特集号を制作し、受診者を募る。		○		○	○	○	○	○	3	1.2%	未満						
27	・特定健診、後期高齢者健診の上乗せ項目として、胸部X線検査を行っているが、国・都の財政的支援があれば喀痰細胞診の実施を検討。	・がん検診事業への国・都の財政支援を要望。	○		○	○	○	○	○	15	5.5%	高い				不明	不明	不明

区市町村 (No)	3 要精検率 (胸部X線+CT+喀痰細胞診)			分析	(1)集計作業(要精検率)			撮影方法			②-1 胸部エックス線精度管理						
	要精検者数	要精検率	全国 比較		要精検率 把握	性・年齢 階級別	検診機関別	間接撮影	直接撮影	デジタル 撮影	間接撮影		直接撮影	デジタル撮影	濃度・ コントラスト・ 鮮鋭度	2名医師読影 (内1名、 経験医)	比較読影
											120kV以上 管電圧	希土類 蛍光板	管電圧・ 希土類シス	高圧撮影			
19				・がん発見率が高い。	○	○		1			1/1	1/1			1/1	1/1	1/1
20				・「事業評価のための点検表」において、項目が満たされていない医療機関(検査委託機関)がある。	○	○			1	1			1/1	1/1	1/1	1/1	1/1
21				・該当なし (受診者数が少なかったため)	○	○				1				1/1	1/1	1/1	1/1
22				・「事業評価のための点検表」において、項目が満たされていない医療機関(検査委託機関)がある。	○	○			1	4			1/1	4/4	5/5	4/5	2/5
23				・がん発見率が高い。 ・「事業評価のための点検表」において、項目が満たされていない医療機関(検査委託機関)がある。	○	○	○	1			1/1	1/1			1/1	1/1	1/1
24				・各がんの有病率の低い年齢階級の受診者が多い。 ・「事業評価のための点検表」において、項目が満たされていない医療機関(検査委託機関)がある。	○	○	○		3	2			3/3	2/2	5/5	5/5	5/5
25				・該当なし	○	○	○			1				1/1	1/1	1/1	1/1
26				・各がんの有病率の低い年齢階級の受診者が多い。 ・初回受診者(過去3年以内に各がん検診の受診歴のない者)が少ない。 ・がん発見率が低い。 ・「事業評価のための点検表」において、項目が満たされていない医療機関(検査委託機関)がある。	○	○	○		1				1/1		1/1	1/1	1/1
27				・がん発見率が高い。 ・「事業評価のための点検表」において、項目が満たされていない医療機関(検査委託機関)がある。	○	○	○		3	2			3/3	2/2	5/5	5/5	5/5



区市町村 (No)	②-2 喀痰細胞診精度管理					②-3 喀痰細胞診精度管理					4 受診者への説明(区市町村実施)				4 受診者への説明(医療機関実施) (満たしている機関/検診実施機関)			
	検査を 他検査機関 委託	喫煙指数 600以上か、 6ヶ月内血痰	備考	有効採取 方法説明、 容器配布	3日の畜痰か 3日の 連続採痰	採痰容器 回収徹底	直接塗沫、 パパニコロウ 染色	経験をする 医師及び 臨床検査技師	2枚以上スライド、 2名以上の技師 スクリーニング	判定基準と 指導区分	検診方法	精検受診の 必要性	精検方法と 内容	個人情報 取り扱い	検診方法	精検受診の 必要性	精検方法と 内容	個人情報 取り扱い
19	1/1	0/1	・35歳以上で、①ブリクマン指数400以上の者、②血痰がでる者、③咳が1か月以上続いている者でいずれかに該当する者	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1					1/1	1/1	1/1	1/1
20	1/1	0/1	・がん検診の案内により、上記に該当する方が、申込時に「胸部エックス線および喀痰細胞診」を選択できるようにしている	1/1	1/1	0/1	1/1	1/1	0/1	1/1					1/1	0/1	0/1	0/1
21	1/1	0/1	・40歳、50歳、60歳で問診により喫煙歴や自覚症状から「高危険群」にある者(喫煙係数600以上の者及び最近6ヶ月以内に血痰があった者)	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	○	○	○	○				
22	5/5	4/5		5/5	4/5	5/5	1/1	1/1	1/1	1/1					5/5	2/5	3/5	2/5
23	0/1	0/1	・原則全員に実施	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1					1/1	1/1	1/1	1/1
24	2/5	5/5		5/5	5/5	5/5	5/5	5/5	4/5	5/5					4/5	4/5	5/5	5/5
25	0/1	0/1	・35歳以上で喫煙指数400以上、または最近痰が気になる(血痰を含む)方	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1					1/1	1/1	1/1	1/1
26	0/1	0/1		1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	○				1/1	1/1	1/1	1/1
27	1/5	4/5		4/5	5/5	4/5	5/5	5/5	4/5	5/5					5/5	5/5	5/5	4/5

区市町村 (No)	5 精検受診率と受診勧奨(喀痰+胸部エックス線併用)					5 精検受診率と受診勧奨(喀痰のみ)					5 精検受診率と受診勧奨(胸部エックス線のみ)					5 精検受診率と受診勧奨(胸部X線+CT+喀痰細胞診)				
	精検 未受診者数	精検結果 未把握者数	精検 受診者数	精検受診率	全国 比較	精検 未受診者数	精検結果 未把握者数	精検 受診者数	精検受診率	全国 比較	精検 未受診者数	精検結果 未把握者数	精検 受診者数	精検受診率	全国 比較	精検 未受診者数	精検結果 未把握者数	精検 受診者数	精検受診率	全国 比較
19	10	96	187	63.8%	未満															
20	不明	不明	不明	不明	不明															
21	不明	不明	不明	不明	不明															
22	0	288	396	57.9%	未満															
23	9	53	837	93.1%	以上															
24	2	9	51	82.3%	以上															
25	1	1	13	86.7%	以上															
26	0	1	2	66.7%	未満															
27	1	1	13	86.7%	以上						不明	不明	不明	不明	不明					

区市町村 (No)	分析	対策1		対策2		対策3	集計作業(精検受診率)		
		精検結果把握の方法について 対策	都への要望	精密検査を受けていない集団、 また受けたい理由について 明らかにし、それに対する対策	都への要望	精検結果把握の方法について 特別な対策	精検受診率 把握	性・年齢 階級別	検診機関別
19	・結果の把握方法(情報提供体制)はあるが、医療機関からの情報提供が得られない場合がある。	・受診の把握ができない者に問い合わせ勧奨する。	・医療機関からの情報提供を義務化する等の体制整備。				○		
20	・検診実施機関、精検実施機関との情報提供体制ができていない。	・受診率の向上対策に取り組んでいるため、精検結果把握の具体的対策まで手が回っていない。							
21	・結果の把握方法(情報提供体制)はあるが、医療機関からの情報提供が得られない場合がある。	・医療機関に対し、精検案内、結果報告を行うよう促す。	・精検結果把握が検診精度管理上重要なことをPRして欲しい。					○	
22	・結果の把握方法(情報提供体制)はあるが、医療機関からの情報提供が得られない場合がある。	・医療機関に対し、未把握者についての情報提供を促す。					○	○	
23						・特になし	○	○	○
24							○	○	○
25						・精密検査の結果を、委託料を支払って報告してもらっている。	○	○	○
26	・結果の把握方法(情報提供体制)はあるが、医療機関からの情報提供が得られない場合がある。	・委託先に未把握者が減るよう働きかける。					○	○	
27						・要精検の通知に精検医への協力依頼文や返信用封筒を同封している。また、要精検者の名簿から未受診者へ受診勧奨をしている。	○	○	○

区市町村 (No)	集計作業(精検受診率と受診勧奨)				集計作業(精検結果未把握率)			6 がん発見率 (喀痰+胸部エックス線併用)			6 がん発見率 (喀痰細胞診のみ)			6 がんの発見率 (胸部エックス線のみ)			6 がんの発見率 (胸部X線+CT+喀痰細胞診)			分析	
	精検 未受診率 把握	性・年齢 階級別	検診機関別	受診勧奨	未把握率 把握	性・年齢 階級別	検診機関別	がん 発見者数	がん 発見率	全国 比較	がん 発見者数	がん 発見率	全国 比較	がん 発見者数	がん 発見率	全国 比較	がん 発見者数	がん 発見率	全国 比較		
19				○				5	0.10%	以上											
20								不明	不明	不明											精検受診のデータを把握していない。
21	○	○			○	○		不明	不明	不明											精検結果未把握のため。
22								30	0.05%	以上											
23	○	○	○		○	○	○	8	0.04%	以上											
24				○	○	○	○	6	0.08%	以上											
25	○	○	○	○	○	○	○	1	0.23%	以上											
26	○	○			○			0	0.00%	未滿											・受診者の年齢階級で、有病率の低い年齢階級の受診者が多い。 ・初回受診者(過去3年以内に各がん検診の受診歴のない者)が少ない。 ・精検受診率が許容値と比較して低い。
27	○	○	○	○	○	○	○	1	0.36%	以上				不明	不明	不明					

区市町村 (No)	集計作業(がん発見率)				集計作業(早期がん割合)				7 陽性反応適中度 (喀痰+胸部X線併用)		7 陽性反応適中度 (喀痰のみ)		7 陽性反応適中度 (胸部X線のみ)		7 陽性反応適中度 (胸部X線+CT+喀痰細胞診)		分析	集計作業(陽性反応適中度)			
	がん発見率 把握	性・年齢 階級別	検診機関別	受診歴別	性・年齢 階級別	検診機関別	受診歴別	陽性反応 適中度	全国 比較	陽性反応 適中度	全国 比較	陽性反応 適中度	全国 比較	陽性反応 適中度	全国 比較	陽性反応 適中度把握		性・年齢 階級別	検診機関別	受診歴別	
19	○							1.71%	以上									○			
20								不明	不明												・がん有病率が高い年齢階級の受診者が少ない。 ・「事業評価のための点検表」において、項目が満たされていない医療機関(検査委託機関)がある。
21		○			○			不明	不明										○		・精検結果未把握のため。
22	○	○			○			4.39%	以上										○	○	
23	○	○	○					0.89%	未滿										○	○	○
24	○	○	○					9.68%	以上										○	○	○
25	○	○	○					6.67%	以上										○	○	○
26	○	○						0.00%	未滿										○		
27	○	○	○					6.67%	以上			不明	不明						○	○	○

区市町村 (No)	課題等	備考	備考(点検表)	備考欄 (町村 5年分受診者数)
19	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対象年齢の検討</li> <li>・がん検診の必要性周知と受診率の向上</li> <li>・喀痰細胞診の対象検討</li> <li>・要精検受診結果の把握</li> </ul>			
20	<ul style="list-style-type: none"> <li>・がん検診の必要性周知と受診率の向上</li> <li>・検診機関精度管理の検討(喀痰細胞診)</li> <li>・喀痰細胞診の対象検討</li> <li>・一次検診受診時の説明</li> <li>・要精検受診結果の把握</li> </ul>	・精検結果未把握		
21	<ul style="list-style-type: none"> <li>・がん検診の必要性周知と受診率の向上</li> <li>・喀痰細胞診の対象検討</li> <li>・要精検受診結果の把握</li> </ul>	・精検結果未把握		
22	<ul style="list-style-type: none"> <li>・検診機関精度管理の検討(撮影・喀痰細胞診)</li> <li>・一次検診受診時の説明</li> <li>・要精検受診結果の把握</li> </ul>			
23	<ul style="list-style-type: none"> <li>・がん検診の必要性周知と受診率の向上</li> <li>・喀痰細胞診の対象検討</li> </ul>			
24	<ul style="list-style-type: none"> <li>・がん検診の必要性周知と受診率の向上</li> <li>・検診機関精度管理の検討(喀痰細胞診)</li> <li>・一次検診受診時の説明</li> </ul>			
25	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対象年齢の検討</li> <li>・がん検診の必要性周知と受診率の向上</li> <li>・喀痰細胞診の対象検討</li> </ul>			
26	<ul style="list-style-type: none"> <li>・がん検診の必要性周知と受診率の向上</li> <li>・検診機関精度管理の検討(喀痰細胞診)</li> <li>・要精検受診結果の把握</li> <li>・受診者特性の検討</li> </ul>			
27	<ul style="list-style-type: none"> <li>・検診方法の検討</li> <li>・がん検診の必要性周知と受診率の向上</li> <li>・検診機関精度管理の検討(喀痰細胞診)</li> <li>・一次検診受診時の説明</li> </ul>	・エックス線のみは検査結果未把握 (医師会で実施しているため)		

区市町村 (No)	1 検査方法及び対象										2 受診率(喀痰+胸部エックス線併用)			
	胸部エックス線 + 喀痰細胞診	対象	胸部エックス線	対象	喀痰細胞診	対象	胸部CT	対象	その他 (検査方法名)	対象	検診 対象者数	受診者数	受診率	全国 比較
28	○	40歳以上									43,921	2,344	5.3%	未満
29	○	50~69歳									69,726	197	0.3%	未満
30	○	30歳以上									34,447	319	0.9%	未満
31	○	40歳以上									62,254	750	1.2%	未満
32	○	40歳以上									125,686	1,323	1.1%	未満
33	○	40歳以上									33,064	207	0.6%	未満
34	○	40歳以上									53,779	2,754	5.1%	未満
35	○	40歳以上									51,968	691	1.3%	未満
36	○	40歳以上									45,871	339	0.7%	未満

区市町村 (No)	2 受診率(喀痰細胞診のみ)				2 受診率(胸部エックス線のみ)				2 受診率(胸部X線+CT+喀痰細胞診)				分 析	対策1	
	検診 対象者数	受診者数	受診率	全国 比較	検診 対象者数	受診者数	受診率	全国 比較	検診 対象者数	受診者数	受診率	全国 比較		受診率が低い集団に対する 対策	都への要望
28													・地域別に、受診率が低い地域がある。	・具体的対策無。	
29													・年齢階級、地域によって、受診率に違いはない。		
30													・年齢階級、地域によって、受診率に違いはない。		
31													・不明	・年1回の受診機会を年2回に増やすことを検討する。	・肺がん検診を委託できる医療機関情報が欲しい。
32													・年齢階級別に、受診率が低い年齢階級がある。	・30歳の節目年齢者へがん検診のご案内を個別通知する予定。	・ポスターや広報の充実。 ・がん検診についての補助金。
33													・年齢階級、地域によって、受診率に違いはない。		
34													・年齢階級、地域によって、受診率に違いはない。		
35													・年齢階級別に、受診率が低い年齢階級がある。	・40歳代の受診者が少ないので、40歳の市民に受診勧奨通知を送る。	
36													・年齢階級別に、受診率が低い年齢階級がある。	・20年度は世帯に保健事業一覧表を配布。21年度、健康ガイドと改訂し、がん検診事業の情報の伝え方を工夫する。窓口・ちらし等で受診勧奨を実施。	・特になし



区市町村 (No)	対策2		集計作業(検診対象者)		集計作業(受診者の情報管理)					3 要精検率 (喀痰+胸部エックス線併用)			3 要精検率(喀痰のみ)			3 要精検率(胸部エックス線のみ)		
	受診率向上に向けた全体的な 対策	都への要望	台帳作成	均等な 受診勧奨	性・年齢 階級別	受診者別 データ	検診機関別	過去3年間 受診歴別	過去3年間 受診歴記録	要精検者数	要精検率	全国 比較	要精検者数	要精検率	全国 比較	要精検者数	要精検率	全国 比較
28					○	○	○	○	○	29	1.2%	未満						
29	・受診方法の改善(喫煙者のみ喀痰 検査、X-Pの受診者増加など)。 ・周知の徹底。		○	○	○	○	○	○	○	7	3.6%	高い						
30	・予算の増額要求を継続的に実施。				○	○	○			8	2.5%	未満						
31					○	○	○	○	○	36	4.8%	高い						
32					○	○	○	○	○	65	4.9%	高い						
33	・現在集団方式で実施しているが、個 別方式にはできないか、また特定健 診との同時実施ができないか検討 中。	・補助金の創設。			○	○	○			4	1.9%	未満						
34	・受診しやすい実施日時や会場等を 検討する。			○	○	○	○			31	1.1%	未満						
35			○		○		○			34	4.9%	高い						
36			○	○	○	○	○	○	○	52	15.3%	高い						

区市町村 (No)	3 要精検率 (胸部X線+CT+喀痰細胞診)			分析	(1)集計作業(要精検率)			撮影方法			②-1 胸部エックス線精度管理						
	要精検者数	要精検率	全国 比較		要精検率 把握	性・年齢 階級別	検診機関別	間接撮影	直接撮影	デジタル 撮影	間接撮影		直接撮影	デジタル撮影	濃度・ コントラスト・ 鮮鋭度	2名医師読影 (内1名、 経験医)	比較読影
											120kV以上 管電圧	希土類 蛍光板	管電圧・ 希土類シス	高圧撮影			
28				・がん発見率が低い。	○	○	○	1			1/1	0/1			1/1	1/1	1/1
29				・「事業評価のための点検表」において、項目が満たされていない医療機関(検査委託機関)がある。	○	○	○			1				1/1	1/1	1/1	1/1
30				・がん発見率が低い。 ・「事業評価のための点検表」において、項目が満たされていない医療機関(検査委託機関)がある。	○	○	○		1				1/1		1/1	1/1	0/1
31				・がん発見率が高い。 ・「事業評価のための点検表」において、項目が満たされていない医療機関(検査委託機関)がある。	○		○			1				1/1	1/1	1/1	1/1
32				・各がんの有病率の高い年齢階級の受診者が多い。 ・がん発見率が高い。	○					1				1/1	1/1	1/1	1/1
33				・がん発見率が低い。	○	○	○		1				1/1		1/1	1/1	1/1
34				・該当なし	○		○	1			1/1	0/1			1/1	1/1	1/1
35				・「事業評価のための点検表」において、項目が満たされていない医療機関(検査委託機関)がある。 ・陽性反応的中度が低い医療機関がある。	○	○	○		1				1/1		1/1	1/1	1/1
36				・各がんの有病率の高い年齢階級の受診者が多い。 ・初回受診者(過去3年以内に各がん検診の受診歴のない者)が多い。 ・がん発見率が高い。 ・「事業評価のための点検表」において、項目が満たされていない医療機関(検査委託機関)がある。	○	○	○			1				1/2	1/2	0/2	0/2

区市町村 (No)	②-2 喀痰細胞診精度管理					②-3 喀痰細胞診精度管理					4 受診者への説明(区市町村実施)				4 受診者への説明(医療機関実施) (満たしている機関/検診実施機関)			
	検査を 他検査機関 委託	喫煙指数 600以上か、 6ヶ月内血痰	備考	有効痰採取 方法説明、 容器配布	3日の畜痰か 3日の 連続採痰	採痰容器 回収徹底	直接塗沫、 パパニコロウ 染色	経験をする 医師及び 臨床検査技師	2枚以上スライド、 2名以上の技師 スクリーニング	判定基準と 指導区分	検診方法	精検受診の 必要性	精検方法と 内容	個人情報 取り扱い	検診方法	精検受診の 必要性	精検方法と 内容	個人情報 取り扱い
28	1/1	1/1		1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1					1/1	1/1	1/1	1/1	
29	0/1	0/1	50～69歳の方で ・せき・痰が1ヶ月以上続く方 ・血痰が半年以内にあった方 ・喫煙指数400以上の方 ・たばこを多く吸う人が身近にいる方	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1		○	○	○	1/1	1/1	1/1	1/1	
30	5/5	5/5		5/5	5/5	5/5	1/1	1/1	0/1	1/1				5/5	5/5	5/5	4/5	
31	0/1	0/1	・1機関40歳以上で喫煙指数600以上の者で実施	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	○	○	○	1/1	1/1	1/1	1/1	
32	1/1	1/1		1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1				1/1	1/1	1/1	1/1	
33	0/1	0/1	・40歳以上で喫煙指数400以上の者 ・過去に血痰のあった者	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	○	○		0/1	0/1	0/1	0/1	
34	0/1	0/1	・40歳以上で喫煙指数400以上の者は必ず実施 ・希望者	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	○			1/1	1/1	1/1	1/1	
35	1/1	0/1	・希望者も対象としている	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	0/1	1/1				1/1	1/1	1/1	1/1	
36	1/2	0/2	・禁煙指数の対象を全年齢としている ・1ヶ月以上、咳や痰が続く方 *21年度肺がん検診は国の指針に基づき実施予定	1/2	1/2	1/2	1/2	1/2	0/2	1/2	○	○	○	1/2	1/2	1/2	1/2	



区市町村 (No)	分析	対策1		対策2		対策3	集計作業(精検受診率)		
		精検結果把握の方法について 対策	都への要望	精密検査を受けていない集団、 また受けない理由について 明らかにし、それに対する対策	都への要望	精検結果把握の方法について 特別な対策	精検受診率 把握	性・年齢 階級別	検診機関別
28							○	○	○
29						・精密検査結果を医療機関から市へ報告。 ・一次検査結果を送付する際に精検結果を記入してもらったアンケートを送付、返信がない場合には電話で状況確認。	○	○	○
30	・検診実施機関、精検実施機関との情報提供体制ができていない。	・21年度は個別に確認を行う予定である。					○	○	
31						・委託医療機関が1ヶ所であり、専門の検診機関であるため。	○	○	○
32	・検診実施機関、精検実施機関との情報提供体制ができていない。 ・要精検者にアンケート送付しているが返送がない場合がある。	・要精検者へ結果報告用のアンケートを送付。					○		
33							○	○	○
34						・精密検査の助成金を出しており、それを請求する時に結果を把握できる。	○		○
35	・情報提供体制はできているが、国への報告時期までに、精検結果について情報が得られない。	・精検未受診者に対し、個別に連絡し、結果について回答を求める。					○	○	○
36						・一次検査の医療機関から、直接結果説明を行い、続けて精密検査を実施し、精検結果は文書で市へ報告をもらう。また、市が文書・電話による追跡をする。他の医療機関で精密受診した場合は、市が本人へ追跡し把握する。	○	○	○



区市町村 (No)	集計作業(がん発見率)				集計作業(早期がん割合)				7 陽性反応適中度 (喀痰+胸部X線併用)		7 陽性反応適中度 (喀痰のみ)		7 陽性反応適中度 (胸部X線のみ)		7 陽性反応適中度 (胸部X線+CT+喀痰細胞診)		分析	集計作業(陽性反応適中度)				
	がん発見率 把握	性・年齢 階級別	検診機関別	受診歴別	性・年齢 階級別	検診機関別	受診歴別	陽性反応 適中度	全国 比較	陽性反応 適中度	全国 比較	陽性反応 適中度	全国 比較	陽性反応 適中度	全国 比較	陽性反応 適中度把握		性・年齢 階級別	検診機関別	受診歴別		
28	○	○	○	○				0.00%	未満									・がん有病率が高い年齢階級の受診者が少ない。 ・がん発見率が低い。 ・「事業評価のための点検表」において、項目が満たされていない医療機関(検査委託機関)がある。	○	○	○	○
29	○	○	○					0.00%	未満									・がん有病率が高い年齢階級の受診者が少ない。 ・がん発見率が低い。	○	○	○	○
30	○	○						0.00%	未満									・がん発見率が低い。 ・「事業評価のための点検表」において、項目が満たされていない医療機関(検査委託機関)がある。 ・精検受診率が低い。	○			
31	○	○	○					2.78%	以上										○	○	○	○
32	○							3.08%	以上										○			
33	○							0.00%	未満									・がん発見率が低い。	○			
34	○		○					6.45%	以上										○			
35	○	○	○					0.00%	未満									・がん有病率が高い年齢階級の受診者が少ない。 ・がん発見率が低い。 ・「事業評価のための点検表」において、項目が満たされていない医療機関(検査委託機関)がある。 ・精検受診率が低い。	○	○	○	○
36	○	○	○	○	○	○	○	1.92%	以上										○	○	○	○

区市町村 (No)	課題等	備考	備考(点検表)	備考欄 (町村 5年分受診者数)
28	<ul style="list-style-type: none"> <li>・がん検診の必要性周知と受診率の向上</li> <li>・検診機関精度管理の検討(撮影)</li> <li>・受診者特性の検討</li> </ul>			
29	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対象年齢の検討</li> <li>・がん検診の必要性周知と受診率の向上</li> <li>・喀痰細胞診の対象検討</li> <li>・受診者特性の検討</li> </ul>			
30	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対象年齢の検討</li> <li>・がん検診の必要性周知と受診率の向上</li> <li>・検診機関精度管理の検討(撮影・喀痰細胞診)</li> <li>・一次検診受診時の説明</li> <li>・要精検受診結果の把握</li> <li>・受診者特性の検討</li> </ul>			
31	<ul style="list-style-type: none"> <li>・がん検診の必要性周知と受診率の向上</li> <li>・喀痰細胞診の対象検討</li> </ul>			
32	<ul style="list-style-type: none"> <li>・がん検診の必要性周知と受診率の向上</li> <li>・要精検受診結果の把握</li> </ul>			
33	<ul style="list-style-type: none"> <li>・がん検診の必要性周知と受診率の向上</li> <li>・喀痰細胞診の対象検討</li> <li>・一次検診受診時の説明</li> <li>・受診者特性の検討</li> </ul>			
34	<ul style="list-style-type: none"> <li>・がん検診の必要性周知と受診率の向上</li> <li>・検診機関精度管理の検討(撮影)</li> <li>・喀痰細胞診の対象検討</li> </ul>			
35	<ul style="list-style-type: none"> <li>・がん検診の必要性周知と受診率の向上</li> <li>・検診機関精度管理の検討(喀痰細胞診)</li> <li>・喀痰細胞診の対象検討</li> <li>・受診者特性の検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・精検受診把握の情報提供体制はできているが、報告時期までに情報が得られない</li> </ul>		
36	<ul style="list-style-type: none"> <li>・がん検診の必要性周知と受診率の向上</li> <li>・検診機関精度管理の検討(撮影・喀痰細胞診)</li> <li>・喀痰細胞診の対象検討</li> </ul>		・1機関未回収	



区市町村 (No)	1 検査方法及び対象										2 受診率(喀痰+胸部エックス線併用)			
	胸部エックス線 + 喀痰細胞診	対象	胸部エックス線	対象	喀痰細胞診	対象	胸部CT	対象	その他 (検査方法名)	対象	検診 対象者数	受診者数	受診率	全国 比較
37	○	30歳以上									32,013	1,444	4.5%	未満
38	○	40歳以上 (喀痰細胞診は 喫煙指数によって 実施)	○	40歳以上							21,987	291	1.3%	未満
39	○	35歳以上									18,548	277	1.5%	未満
40	○	35歳以上(男性) 30歳以上(女性)									23,125	1,217	5.3%	未満
41	○	40歳以上									25,134	723	2.9%	未満
42	○	40歳以上									22,964	155	0.7%	未満
43	○	40歳以上									37,223	848	2.3%	未満
44	○	40歳以上									20,784	1,210	5.8%	未満
45	○	40歳以上 (喀痰細胞診は 喫煙指数400以上)									44,034	412	0.9%	未満

区市町村 (No)	2 受診率(喀痰細胞診のみ)				2 受診率(胸部エックス線のみ)				2 受診率(胸部X線+CT+喀痰細胞診)				分析	対策1	
	検診 対象者数	受診者数	受診率	全国 比較	検診 対象者数	受診者数	受診率	全国 比較	検診 対象者数	受診者数	受診率	全国 比較		受診率が低い集団に対する 対策	都への要望
37													・年齢階級別に、受診率が低い年齢階級がある。	・これまで一度も受診したことのない対象者への個別勧奨、利便性の確保。	・受診の利便性確保のための、医師会等への協力要請。
38					21,987	184	0.8%	未滿					・年齢階級、地域によって、受診率に違いはない。 ・定員が決まっている。		
39													・年齢階級別に、受診率が低い年齢階級がある。 ・地域別に、受診率が低い年齢がある。		
40													・年齢階級別に、受診率が低い年齢階級がある。	・広報などによるPRの工夫。 ・定員増の検討。	
41													・年齢階級、地域によって、受診率に違いはない。		
42													・年齢階級、地域によって、受診率に違いはない。		
43													・年齢階級別に、受診率が低い年齢階級がある。	・健康増進計画で健康づくり推進員によるPR。 ・広報紙一面に掲載。 ・集団検診実施場所の増加。 ・胃がん等集団検診時にPR。	
44													・年齢階級別に、受診率が低い年齢階級がある。 ・地域別に受診率が低い地域がある。	・若い世代へのPR強化。 ・予算の確保。 ・有料化等。	
45													・定員制の集団検診として実施。		

区市町村 (No)	対策2		集計作業(検診対象者)		集計作業(受診者の情報管理)					3 要精検率 (喀痰+胸部エックス線併用)			3 要精検率(喀痰のみ)			3 要精検率(胸部エックス線のみ)		
	受診率向上に向けた全体的な 対策	都への要望	台帳作成	均等な 受診勧奨	性・年齢 階級別	受診者別 データ	検診機関別	過去3年間 受診歴別	過去3年間 受診歴記録	要精検者数	要精検率	全国 比較	要精検者数	要精検率	全国 比較	要精検者数	要精検率	全国 比較
37					○	○	○			18	1.2%	未満						
38	・検討中			○	○	○	○		○	14	4.8%	高い			9	4.9%	高い	
39				○		○	○		○	1	0.4%	未満						
40					○	○	○			77	6.3%	高い						
41	・定員増に伴う予算の確保。		○	○	○	○	○		○	21	2.9%	未満						
42	・喫煙者及び節目年齢対象者への個別通知。 ・対象枠の拡大。 ・検診PR活動。	・検診の必要性等、国や都レベルでのPRに努めてもらいたい。		○	○	○	○			8	5.2%	高い						
43					○	○				43	5.1%	高い						
44					○					35	2.9%	未満						
45	・現在定員制の集団検診で実施。いつも定員一杯の申し込みがあり、対策は考えていない。			○	○	○	○		○	16	3.9%	高い						

区市町村 (No)	3 要精検率 (胸部X線+CT+喀痰細胞診)			分析	(1)集計作業(要精検率)			撮影方法			②-1 胸部エックス線精度管理						
	要精検者数	要精検率	全国 比較		要精検率 把握	性・年齢 階級別	検診機関別	間接撮影	直接撮影	デジタル 撮影	間接撮影		直接撮影	デジタル撮影	濃度・ コントラスト・ 鮮鋭度	2名医師読影 (内1名、 経験医)	比較読影
											120kV以上 管電圧	希土類 蛍光板	管電圧・ 希土類シス	高圧撮影			
37				・各がんの有病率の低い年齢階級の受診者が多い。 ・「事業評価のための点検表」において、項目が満たされていない医療機関(検査委託機関)がある。	○	○	○		1				1/1		1/1	1/1	1/1
38				・がん発見率が高い。	○	○	○			1				1/1	1/1	1/1	1/1
39				・各がんの有病率の低い年齢階級の受診者が多い。 ・「事業評価のための点検表」において、項目が満たされていない医療機関(検査委託機関)がある。	○				1				1/1		1/1	1/1	1/1
40				・「事業評価のための点検表」において、項目が満たされていない医療機関(検査委託機関)がある。	○	○			5				5/5		5/5	5/5	5/5
41				・該当なし	○	○	○			1				1/1	1/1	1/1	1/1
42				・がん発見率が高い。	○	○	○		1				1/1		1/1	1/1	1/1
43				・各がんの有病率の高い年齢階級の受診者が多い。 ・がん発見率が高い。 ・「事業評価のための点検表」において、項目が満たされていない医療機関(検査委託機関)がある。	○				4	1			4/4	1/1	5/5	4/5	5/5
44				・各がんの有病率の低い年齢階級の受診者が多い。 ・がん発見率が低い。	○	○				1				1/1	1/1	1/1	1/1
45				・がん発見率が高い。	○		○			1				1/1	1/1	1/1	1/1

区市町村 (No)	②-2 喀痰細胞診精度管理						②-3 喀痰細胞診精度管理					4 受診者への説明(区市町村実施)				4 受診者への説明(医療機関実施) (満たしている機関/検診実施機関)			
	検査を 他検査機関 委託	喫煙指数 600以上か、 6ヶ月内血痰	備考	有効痰採取 方法説明、 容器配布	3日の畜痰か 3日の 連続採痰	採痰容器 回収徹底	直接塗沫、 パパニコロウ 染色	経験をする 医師及び 臨床検査技師	2枚以上ストライド、 2名以上の技師 スクリーニング	判定基準と 指導区分	検診方法	精検受診の 必要性	精検方法と 内容	個人情報 取り扱い	検診方法	精検受診の 必要性	精検方法と 内容	個人情報 取り扱い	
37	1/1	0/1	・原則、申込者全員が対象	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1					1/1	1/1	1/1	1/1	
38	0/1	0/1	・希望者全員	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	○	○	○	1/1	1/1	1/1	1/1		
39	1/1	0/1	・35歳以上希望者 ・問診で必要と認めた方	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1				1/1	1/1	1/1	1/1		
40	5/5	0/5	・希望者全員	5/5	5/5	5/5	5/5	5/5	3/5	5/5				4/5	5/5	4/5	5/5		
41	0/1	0/1	・対象者を40歳以上としているため	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	○	○	○	1/1	1/1	1/1	1/1		
42	0/1	0/1	①40歳以上でBI指数600以上の者 ②40歳以上で6ヶ月以内に血痰が出たことがある者 ③40歳以上で同居している家族の中にBI指数が600以上の者がいる者	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	○			1/1	1/1	1/1	1/1		
43	5/5	0/5	・40歳以上で喫煙指数600以上	5/5	5/5	5/5	1/1	1/1	1/1	1/1				4/5	5/5	3/5	4/5		
44	0/1	1/1		1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1				1/1	1/1	1/1	1/1		
45	0/1	0/1	・全年齢喫煙指数400以上で規定	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	○	○	○	○	1/1	1/1	1/1	1/1	



区市町村 (No)	分析	対策1		対策2		対策3	集計作業(精検受診率)		
		精検結果把握の方法について 対策	都への要望	精密検査を受けていない集団、 また受けない理由について 明らかにし、それに対する対策	都への要望	精検結果把握の方法について 特別な対策	精検受診率 把握	性・年齢 階級別	検診機関別
37	・検診実施機関、精検実施機関との情報提供体制ができていない。 ・精検未受診者の多い集団の特性が明らかになっていない。 ・受診しない理由が明らかになっていない。	・検診実施機関と精検実施機関との間に情報提供体制の構築を求める。		・精検結果を把握できるようにする。					
38						・個別電話勧奨。	○	○	○
39	・結果の把握方法(情報提供体制)はあるが、医療機関からの情報提供が得られない場合がある。	・精検対象者に対するアンケートを実施し、結果について返送してもらい、把握を試みる。返送されなかった方に対して電話フォローしていく。	・東京都での受診医療機関の統一。(都で契約)						
40	・検診実施機関、精検実施機関との情報提供体制ができていない。	・電話や文書による把握方法の検討。					○	○	
41						・要精検者追跡調査。 ・検診委託先からの結果把握。	○	○	○
42							○	○	
43						・医療機関で受けた一次結果を市で把握。 ・要精検者へ個別に通知し、精検結果を把握。 ・個別通知が未返信の方には電話にてフォローし、受診勧奨を行っている。	○		
44							○	○	
45						・精検対象者に結果通知と一緒に受診勧奨の文書及び結果を記入するアンケートを同封。 ・一定期間にアンケートの返信がない場合、受診確認及び勧奨をしている。	○		○





区市町村 (No)	集計作業(がん発見率)				集計作業(早期がん割合)				7 陽性反応適中度 (喀痰+胸部X線併用)		7 陽性反応適中度 (喀痰のみ)		7 陽性反応適中度 (胸部X線のみ)		7 陽性反応適中度 (胸部X線+CT+喀痰細胞診)		分析	集計作業(陽性反応適中度)				
	がん発見率 把握	性・年齢 階級別	検診機関別	受診歴別	性・年齢 階級別	検診機関別	受診歴別	陽性反応 適中度	全国 比較	陽性反応 適中度	全国 比較	陽性反応 適中度	全国 比較	陽性反応 適中度	全国 比較	陽性反応 適中度把握		性・年齢 階級別	検診機関別	受診歴別		
37								不明	不明									<ul style="list-style-type: none"> <li>・がん有病率が高い年齢階級の受診者が少ない。</li> <li>・「事業評価のための点検表」において、項目が満たされていない医療機関(検査委託機関)がある。</li> <li>・精検受診率未把握。</li> </ul>				
38	○	○		○				14.29%	以上					0.00%	未滿				○			
39								不明	不明									<ul style="list-style-type: none"> <li>・がん有病率が高い年齢階級の受診者が少ない。</li> <li>・「事業評価のための点検表」において、項目が満たされていない医療機関(検査委託機関)がある。</li> </ul>				
40	○	○						0.00%	未滿									<ul style="list-style-type: none"> <li>・がん発見率が低い。</li> <li>・「事業評価のための点検表」において、項目が満たされていない医療機関(検査委託機関)がある。</li> <li>・精検受診率が低い。</li> </ul>	○			
41	○	○	○					4.76%	以上										○	○	○	
42	○	○						25.00%	以上										○	○		
43	○							2.33%	以上										○			
44	○	○						0.00%	未滿									<ul style="list-style-type: none"> <li>・がん発見率が低い。</li> </ul>	○	○		
45	○		○					6.25%	以上										○		○	

区市町村 (No)	課題等	備考	備考(点検表)	備考欄 (町村 5年分受診者数)
37	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対象年齢の検討</li> <li>・がん検診の必要性周知と受診率の向上</li> <li>・喀痰細胞診の対象検討</li> <li>・要精検受診結果の把握</li> </ul>	・精検結果未把握		
38	<ul style="list-style-type: none"> <li>・検診方法の検討</li> <li>・がん検診の必要性周知と受診率の向上</li> <li>・喀痰細胞診の対象検討</li> </ul>			
39	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対象年齢の検討</li> <li>・がん検診の必要性周知と受診率の向上</li> <li>・喀痰細胞診の対象検討</li> <li>・要精検受診結果の把握</li> </ul>	・精検結果未把握		
40	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対象年齢の検討</li> <li>・がん検診の必要性周知と受診率の向上</li> <li>・検診機関精度管理の検討(喀痰細胞診)</li> <li>・喀痰細胞診の対象検討</li> <li>・一次検診受診時の説明</li> <li>・要精検受診結果の把握</li> <li>・受診者特性の検討</li> </ul>			
41	<ul style="list-style-type: none"> <li>・がん検診の必要性周知と受診率の向上</li> <li>・喀痰細胞診の対象検討</li> </ul>			
42	<ul style="list-style-type: none"> <li>・がん検診の必要性周知と受診率の向上</li> <li>・喀痰細胞診の対象検討</li> </ul>			
43	<ul style="list-style-type: none"> <li>・がん検診の必要性周知と受診率の向上</li> <li>・検診機関精度管理の検討(撮影)</li> <li>・喀痰細胞診の対象検討</li> <li>・一次検診受診時の説明</li> </ul>			
44	<ul style="list-style-type: none"> <li>・がん検診の必要性周知と受診率の向上</li> <li>・受診者特性の検討</li> </ul>			
45	<ul style="list-style-type: none"> <li>・がん検診の必要性周知と受診率の向上</li> <li>・喀痰細胞診の対象検討</li> </ul>			



区市町村 (No)	2 受診率(喀痰細胞診のみ)				2 受診率(胸部エックス線のみ)				2 受診率(胸部X線+CT+喀痰細胞診)				分析	対策1	
	検診 対象者数	受診者数	受診率	全国 比較	検診 対象者数	受診者数	受診率	全国 比較	検診 対象者数	受診者数	受診率	全国 比較		受診率が低い集団に対する 対策	都への要望
46															
47													・年齢階級、地域によって、受診率に違いはない。		
48													・年齢階級別に、受診率が低い年齢階級がある。	・受診勧奨通知の実施を検討。	・各区市町村の実情にあった財源補助の創設。
49													・年齢階級別に、受診率が低い年齢階級がある。	・特定健診と同時実施。 ・実施日数の増加。	
50													・年齢階級別に、受診率が低い年齢階級がある。	・定員の増加。	
51					5,500	554	10.1%	未滿					・年齢階級別に、受診率が低い年齢階級がある。	・町の広報誌での複数月の掲載協議とポスターによるPR強化。	
52													・年齢階級別に、受診率が低い年齢階級がある。	・広報などで広くがん検診受診を勧めるとともに、特定の年齢層の方々に対しては受診勧奨のハガキを送付する。	・がん及びがん検診についての普及啓発活動をより積極的に実施し、都民の方々のがん・がん検診に対する意識を高めてもらいたい。
53													・受診定員に制限がある。 ・人口の高齢化。		
54					3,576	813	22.7%	以上							

区市町村 (No)	対策2		集計作業(検診対象者)		集計作業(受診者の情報管理)					3 要精検率 (喀痰+胸部エックス線併用)			3 要精検率(喀痰のみ)			3 要精検率(胸部エックス線のみ)		
	受診率向上に向けた全体的な 対策	都への要望	台帳作成	均等な 受診勧奨	性・年齢 階級別	受診者別 データ	検診機関別	過去3年間 受診歴別	過去3年間 受診歴記録	要精検者数	要精検率	全国 比較	要精検者数	要精検率	全国 比較	要精検者数	要精検率	全国 比較
46																		
47	・広報などによる受診勧奨の強化。				○	○	○			71	5.2%	高い						
48				○	○		○			107	2.8%	未満						
49					○	○	○	○		17	0.7%	未満						
50				○	○	○	○			15	1.9%	未満						
51				○	○		○								241	3.2%	高い	
52	・特定健康診査との同時実施について、担当部署と協議・検討する。	・都内や東京都近郊の自治体にある検診実施機関でならば、何処でもがん検診を受けられるような制度を作っていただくと、受診者の利便性が高まると思われる。 ・がん検診の受診率向上に対する取り組みや、成功・失敗事例などを研修会や講演会を通じて紹介して欲しい。	○		○	○	○	○		79	3.7%	高い						
53				○	○	○	○	○		22	1.8%	未満						
54				○	○	○	○								373	10.3%	高い	

区市町村 (No)	3 要精検率 (胸部X線+CT+喀痰細胞診)			分析	(1)集計作業(要精検率)			撮影方法			②-1 胸部エックス線精度管理						
	要精検者数	要精検率	全国 比較		要精検率 把握	性・年齢 階級別	検診機関別	間接撮影	直接撮影	デジタル 撮影	間接撮影		直接撮影	デジタル撮影	濃度・ コントラスト・ 鮮鋭度	2名医師読影 (内1名、 経験医)	比較読影
											120kV以上 管電圧	希土類 蛍光板	管電圧・ 希土類シス	高圧撮影			
46																	
47				・「事業評価のための点検表」において、項目が満たされていない医療機関(検査委託機関)がある。	○	○	○		1				1/1		1/1	1/1	1/1
48				・がん発見率が低い。	○	○	○			2				2/2	2/2	2/2	2/2
49				・「事業評価のための点検表」において、項目が満たされていない医療機関(検査委託機関)がある。	○	○	○	1				1/1	0/1		1/1	1/1	1/1
50				・各がんの有病率の低い年齢階級の受診者が多い。 ・がん発見率が低い。	○	○	○			1				1/1	1/1	1/1	1/1
51				・該当なし	○	○	○		1					1/1	1/1	1/1	1/1
52				・各がんの有病率の高い年齢階級の受診者が多い。 ・「事業評価のための点検表」において、項目が満たされていない医療機関(検査委託機関)がある。	○				1	1			1/1	1/1	2/2	1/2	1/2
53				・各がんの有病率の低い年齢階級の受診者が多い。 ・初回受診者(過去3年以内に各がん検診の受診歴のない者)が少ない。 ・がん発見率が低い。 ・「事業評価のための点検表」において、項目が満たされていない医療機関(検査委託機関)がある。	○					1				1/1	1/1	1/1	1/1
54				・各がんの有病率の高い年齢階級の受診者が多い。	○	○	○			1				0/1	1/1	1/1	1/1

区市町村 (No)	②-2 喀痰細胞診精度管理						②-3 喀痰細胞診精度管理					4 受診者への説明(区市町村実施)				4 受診者への説明(医療機関実施) (満たしている機関/検診実施機関)			
	検査を 他検査機関 委託	喫煙指数 600以上か、 6ヶ月内血痰	備考	有効痰採取 方法説明、 容器配布	3日の畜痰か 3日の 連続採痰	採痰容器 回収徹底	直接塗沫、 パパニコロウ 染色	経験を有する 医師及び 臨床検査技師	2枚以上スライド、 2名以上の技師 スクリーニング	判定基準と 指導区分	検診方法	精検受診の 必要性	精検方法と 内容	個人情報 取り扱い	検診方法	精検受診の 必要性	精検方法と 内容	個人情報 取り扱い	
46																			
47	1/1	0/1	・40歳以上で喫煙者 ・希望者	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	0/1	1/1	○	○	○	○	1/1	0/1	0/1	0/1	
48	1/2	0/2	・問診の結果、場合によっては、原則 どおりではなく、喀痰細胞診検査を実施 することがある	2/2	2/2	2/2	2/2	2/2	2/2	2/2					2/2	2/2	2/2	2/2	
49	0/1	0/1	・40歳以上 喫煙指数400以上 ・1ヵ月以上続く 咳と痰 上記で希望する方	1/1	1/1	0/1	1/1	1/1	1/1	1/1		○		○	1/1	0/1	1/1	0/1	
50	0/1	0/1	・対象者は全員	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1					1/1	1/1	1/1	1/1	
51															1/1	1/1	1/1	1/1	
52	2/2	0/2	・18歳以上で喫煙指数600以上は全員 ・希望者	2/2	2/2	2/2	2/2	2/2	1/2	2/2					2/2	2/2	2/2	2/2	
53	0/1	0/1	・肺がん検診受診者に喀痰細胞診検査 の希望を伺い、希望した方のうち採 痰が容易にできる者	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1					1/1	1/1	1/1	1/1	
54															1/1	1/1	1/1	1/1	

区市町村 (No)	5 精検受診率と受診勧奨(喀痰+胸部エックス線併用)					5 精検受診率と受診勧奨(喀痰のみ)					5 精検受診率と受診勧奨(胸部エックス線のみ)					5 精検受診率と受診勧奨(胸部X線+CT+喀痰細胞診)				
	精検 未受診者数	精検結果 未把握者数	精検 受診者数	精検受診率	全国 比較	精検 未受診者数	精検結果 未把握者数	精検 受診者数	精検受診率	全国 比較	精検 未受診者数	精検結果 未把握者数	精検 受診者数	精検受診率	全国 比較	精検 未受診者数	精検結果 未把握者数	精検 受診者数	精検受診率	全国 比較
46																				
47	5	20	46	64.8%	未滿															
48	8	8	91	85.0%	以上															
49	0	6	11	64.7%	未滿															
50	1	0	14	93.3%	以上															
51										11	84	146	60.6%	未滿						
52	0	0	79	100.0%	以上															
53	2	5	15	68.2%	未滿															
54										65	49	259	69.4%	未滿						



区市町村 (No)	分析	対策1		対策2		対策3	集計作業(精検受診率)		
		精検結果把握の方法について 対策	都への要望	精密検査を受けていない集団、 また受けたい理由について 明らかにし、それに対する対策	都への要望	精検結果把握の方法について 特別な対策	精検受診率 把握	性・年齢 階級別	検診機関別
46									
47	・精検者の追跡調査を行っているが返答 が得られない。	・追跡調査の強化。					○	○	○
48							○	○	○
49	・本人からの連絡が得られない。	・検診機関への協力依頼。 ・未把握者への結果依頼の再発送。 ・精検結果返送依頼の作成。 ・個別確認。	・都内医療機関への作成協力依頼。 ・市町村あて文書は、無料とすることの協 力依頼。				○		○
50						・本人への精密検査受診の有無の確認 に加え、精密検査結果通知の契約を結ん でいる。	○	○	○
51	・結果は対象者から町が直接報告を受 ける。報告時期までに情報が得られな い。	・電話・通知による早期結果把握の強化。					○	○	○
52			・精検結果把握の方法について、具体的 な方法や成功・失敗事例を研修会などで 教えて欲しい。			・個別訪問をして確認をしている。	○		
53	・検診実施機関、精検実施機関との情報 提供体制ができていない。	・電話による追跡調査を検討中。					○		
54	・受診しない理由が明らかになっていな い。			・医療機関と連携し個別連絡をする。			○	○	○

区市町村 (No)	集計作業(精検受診率と受診勧奨)				集計作業(精検結果未把握率)			6 がん発見率 (喀痰+胸部エックス線併用)			6 がん発見率 (喀痰細胞診のみ)			6 がんの発見率 (胸部エックス線のみ)			6 がんの発見率 (胸部X線+CT+喀痰細胞診)			分析	
	精検 未受診率 把握	性・年齢 階級別	検診機関別	受診勧奨	未把握率 把握	性・年齢 階級別	検診機関別	がん 発見者数	がん 発見率	全国 比較	がん 発見者数	がん 発見率	全国 比較	がん 発見者数	がん 発見率	全国 比較	がん 発見者数	がん 発見率	全国 比較		
46																					
47	○	○	○		○	○	○	0	0.00%	未満											・受診者の年齢階級で、有病率の低い年齢階級の受診者が多い。 ・精検受診率が許容値と比較して低い。
48	○	○	○	○	○	○	○	0	0.00%	未満											・受診者の年齢階級で、有病率の低い年齢階級の受診者が多い。
49				○	○		○	1	0.04%	以上											
50	○	○	○	○	○	○	○	0	0.00%	未満											・受診者の年齢階級で、有病率の低い年齢階級の受診者が多い。
51				○									1	0.01%	未満						・受診者の年齢階級で、有病率の低い年齢階級の受診者が多い。 ・精検受診率が許容値と比較して低い。
52				○	○			0	0.00%	未満											・初回受診者(過去3年以内に各がん検診の受診歴のない者)が少ない。 ・検診受診者数が少ない。
53	○	○	○		○	○	○	0	0.00%	未満											・初回受診者(過去3年以内に各がん検診の受診歴のない者)が少ない。 ・精検受診率が許容値と比較して低い。
54	○	○	○		○	○	○						0	0.00%	未満						・精検受診率が許容値と比較して低い。

区市町村 (No)	集計作業(がん発見率)				集計作業(早期がん割合)				7 陽性反応適中度 (喀痰+胸部X線併用)		7 陽性反応適中度 (喀痰のみ)		7 陽性反応適中度 (胸部X線のみ)		7 陽性反応適中度 (胸部X線+CT+喀痰細胞診)		分析	集計作業(陽性反応適中度)						
	がん発見率 把握	性・年齢 階級別	検診機関別	受診歴別	性・年齢 階級別	検診機関別	受診歴別	陽性反応 適中度	全国 比較	陽性反応 適中度	全国 比較	陽性反応 適中度	全国 比較	陽性反応 適中度	全国 比較	陽性反応 適中度把握		性・年齢 階級別	検診機関別	受診歴別				
46																								
47	○	○	○				0.00%	未満											・がん有病率が高い年齢階級の受診者が少ない。 ・がん発見率が低い。 ・「事業評価のための点検表」において、項目が満たされていない医療機関(検査委託機関)がある。 ・精検受診率が低い。	○	○	○		
48	○	○	○				0.00%	未満											・がん発見率が低い。 ・「事業評価のための点検表」において、項目が満たされていない医療機関(検査委託機関)がある。	○	○	○		
49	○		○				5.88%	以上												○	○			
50	○	○	○	○			0.00%	未満											・がん有病率が高い年齢階級の受診者が少ない。 ・がん発見率が低い。	○	○	○		
51	○	○	○									0.41%	未満						・がん有病率が高い年齢階級の受診者が少ない。 ・がん発見率が低い。 ・精検受診率が低い。	○	○	○		
52	○						0.00%	未満											・がん発見率が低い。 ・「事業評価のための点検表」において、項目が満たされていない医療機関(検査委託機関)がある。	○				
53	○						0.00%	未満											・初回受診者(過去3年以内に各がん検診の受診歴のない者)が少ない。 ・がん発見率が低い。 ・「事業評価のための点検表」において、項目が満たされていない医療機関(検査委託機関)がある。 ・精検受診率が低い。	○				
54	○	○	○									0.00%	未満						・がん発見率が低い。 ・精検受診率が低い。	○				

区市町村 (No)	課題等	備考	備考(点検表)	備考欄 (町村 5年分受診者数)
46	《未実施》			
47	<ul style="list-style-type: none"> <li>・がん検診の必要性周知と受診率の向上</li> <li>・検診機関精度管理の検討(喀痰細胞診)</li> <li>・喀痰細胞診の対象検討</li> <li>・要精検受診結果の把握</li> <li>・受診者特性の検討</li> </ul>			
48	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対象年齢の検討</li> <li>・がん検診の必要性周知と受診率の向上</li> <li>・喀痰細胞診の対象検討</li> <li>・受診者特性の検討</li> </ul>			
49	<ul style="list-style-type: none"> <li>・がん検診の必要性周知と受診率の向上</li> <li>・検診機関精度管理の検討(撮影・喀痰細胞診)</li> <li>・喀痰細胞診の対象検討</li> <li>・要精検受診結果の把握</li> </ul>			
50	<ul style="list-style-type: none"> <li>・がん検診の必要性周知と受診率の向上</li> <li>・喀痰細胞診の対象検討</li> <li>・受診者特性の検討</li> </ul>			786
51	<ul style="list-style-type: none"> <li>・がん検診の必要性周知と受診率の向上</li> <li>・検診方法の検討</li> <li>・要精検受診結果の把握</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・精検受診把握の情報提供体制はできていないが、報告時期までに情報が得られない</li> </ul>		7461
52	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対象年齢の検討</li> <li>・がん検診の必要性周知と受診率の向上</li> <li>・検診機関精度管理の検討(撮影・喀痰細胞診)</li> <li>・喀痰細胞診の対象検討</li> <li>・受診者特性の検討</li> </ul>			2164
53	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対象年齢の検討</li> <li>・がん検診の必要性周知と受診率の向上</li> <li>・喀痰細胞診の対象検討</li> <li>・要精検受診結果の把握</li> <li>・受診者特性の検討</li> </ul>			1212
54	<ul style="list-style-type: none"> <li>・検診方法の検討</li> <li>・対象年齢の検討</li> <li>・検診機関精度管理の検討(撮影)</li> <li>・精検未受診理由把握と精検受診率の向上</li> </ul>			3621

区市町村 (No)	1 検査方法及び対象										2 受診率(喀痰+胸部エックス線併用)			
	胸部エックス線 + 喀痰細胞診	対象	胸部エックス線	対象	喀痰細胞診	対象	胸部CT	対象	その他 (検査方法名)	対象	検診 対象者数	受診者数	受診率	全国 比較
55	○	希望者住民全員 年齢制限なし									113	108	95.6%	以上
56	○	年齢制限なし									1,290	64	5.0%	未滿
57	《未実施》													
58	○	40歳以上									1,279	334	26.1%	以上
59	○	30歳以上									85	67	78.8%	以上
60	○	40歳以上									3,565	883	24.8%	以上
61	○	40歳以上									64	12	18.8%	未滿
62	○	40歳以上	○	40歳以上							705	38	5.4%	未滿

区市町村 (No)	2 受診率(喀痰細胞診のみ)				2 受診率(胸部エックス線のみ)				2 受診率(胸部X線+CT+喀痰細胞診)				分析	対策1	
	検診 対象者数	受診者数	受診率	全国 比較	検診 対象者数	受診者数	受診率	全国 比較	検診 対象者数	受診者数	受診率	全国 比較		受診率が低い集団に対する 対策	都への要望
55															
56													・年齢階級、地域によって、受診率に違いはない。		
57															
58															
59															
60															
61													・検診対象者数が少ないため1名の影響が大きい。	・個々の受診勧奨を機会をみて行っている。	
62					705	390	55.3%	以上					・年齢階級、地域によって、受診率に違いはない。		

区市町村 (No)	対策2		集計作業(検診対象者)		集計作業(受診者の情報管理)					3 要精検率 (喀痰+胸部エックス線併用)			3 要精検率(喀痰のみ)			3 要精検率(胸部エックス線のみ)		
	受診率向上に向けた全体的な 対策	都への要望	台帳作成	均等な 受診勧奨	性・年齢 階級別	受診者別 データ	検診機関別	過去3年間 受診歴別	過去3年間 受診歴記録	要精検者数	要精検率	全国 比較	要精検者数	要精検率	全国 比較	要精検者数	要精検率	全国 比較
55										9	2.3%	未満						
56	・平成22年度は2年に一度の乳がん、子宮がんを実施する年になっているので、広報やリーフレットでがん検診推進のキャンペーンを行いたい。	・がん検診を受けた方がいいことは、かなり認識されているが、時間が取れないなどで受けていない人が多い。都では職場用にポスターを制作し、掲示してもらうことや、マスコミを利用したキャンペーンを展開し、社会的な盛り上げを促すことを行っていただきたい。			○					1	0.5%	未満						
57																		
58			○	○						17	1.5%	未満						
59			○	○	○	○	○	○	○	1	0.5%	未満						
60					○				○	103	3.4%	高い						
61			○			○				2	2.1%	未満						
62	・広報活動の強化。		○	○	○	○	○	○	○	1	0.5%	未満			18	1.2%	未満	

区市町村 (No)	3 要精検率 (胸部X線+CT+喀痰細胞診)			分析	(1)集計作業(要精検率)			撮影方法			②-1 胸部エックス線精度管理						
	要精検者数	要精検率	全国 比較		要精検率 把握	性・年齢 階級別	検診機関別	間接撮影	直接撮影	デジタル 撮影	間接撮影		直接撮影	デジタル撮影	濃度・ コントラスト・ 鮮鋭度	2名医師読影 (内1名、 経験医)	比較読影
											120kV以上 管電圧	希土類 蛍光板	管電圧・ 希土類シス	高圧撮影			
55				・受診者数が少なく、1名の影響が大きいため。	○				1				1/1		1/1	1/1	1/1
56				・初回受診者(過去3年以内に各がん検診の受診歴のない者)が少ない。 ・がん発見率が低い。	○	○			1				1/1		1/1	1/1	1/1
57																	
58				・「事業評価のための点検表」において、項目が満たされていない医療機関(検査委託機関)がある。	○		○			1				1/1	1/1	0/1	0/1
59				・各がんの有病率の低い年齢階級の受診者が多い。 ・初回受診者(過去3年以内に各がん検診の受診歴のない者)が少ない。	○	○	○		1				1/1		1/1	1/1	1/1
60				・各がんの有病率の高い年齢階級の受診者が多い。	○	○				1				1/1	1/1	1/1	1/1
61				・受診者数が少ないため。	○		○			1				1/1	1/1	1/1	1/1
62				・初回受診者(過去3年以内に各がん検診の受診歴のない者)が少ない。	○	○	○			1				1/1	1/1	1/1	1/1



区市町村 (No)	②-2 喀痰細胞診精度管理						②-3 喀痰細胞診精度管理					4 受診者への説明(区市町村実施)				4 受診者への説明(医療機関実施) (満たしている機関/検診実施機関)			
	検査を 他検査機関 委託	喫煙指数 600以上か、 6ヶ月内血痰	備考	有効痰採取 方法説明、 容器配布	3日の畜痰か 3日の 連続採痰	採痰容器 回収徹底	直接塗抹、 パパンニコロウ 染色	経験を有する 医師及び 臨床検査技師	2枚以上スライド、 2名以上の技師 スクリーニング	判定基準と 指導区分	検診方法	精検受診の 必要性	精検方法と 内容	個人情報 取り扱い	検診方法	精検受診の 必要性	精検方法と 内容	個人情報 取り扱い	
55	0/1	0/1		1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	○	○			1/1	1/1	1/1	1/1	
56	0/1	0/1	・X線、喀痰とも希望者全員	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1					1/1	0/1	0/1	1/1	
57																			
58	0/1	0/1	・40歳以上で喫煙指数600以上の方に 勧めて希望者に実施 ・症状のある人で希望者	1/1	1/1	0/1	1/1	1/1	1/1	1/1					1/1	0/1	0/1	1/1	
59	0/1	0/1	・50歳以上で喫煙指数が400以上・6ヶ 月以内に血痰があった者には特に受 診を勧奨するが、該当しない場合でも 30歳以上の者は希望すれば検査を受 けられる	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1					1/1	1/1	1/1	1/1	
60	0/1	0/1	・40歳以上で希望者	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1					1/1	1/1	1/1	1/1	
61	0/1	0/1		1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1					1/1	1/1	1/1	1/1	
62	0/1	0/1	・喀痰は希望者全員 ・レントゲンは希望者全員	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	○	○					1/1	1/1	

区市町村 (No)	5 精検受診率と受診勧奨(喀痰+胸部エックス線併用)					5 精検受診率と受診勧奨(喀痰のみ)					5 精検受診率と受診勧奨(胸部エックス線のみ)					5 精検受診率と受診勧奨(胸部X線+CT+喀痰細胞診)				
	精検 未受診者数	精検結果 未把握者数	精検 受診者数	精検受診率	全国 比較	精検 未受診者数	精検結果 未把握者数	精検 受診者数	精検受診率	全国 比較	精検 未受診者数	精検結果 未把握者数	精検 受診者数	精検受診率	全国 比較	精検 未受診者数	精検結果 未把握者数	精検 受診者数	精検受診率	全国 比較
55	0	8	1	11.1%	未満															
56	0	0	1	100.0%	以上															
57																				
58	2	11	4	23.5%	未満															
59	不明	不明	不明	不明	不明															
60	6	49	48	46.6%	未満															
61	不明	不明	不明	不明	不明															
62	0	0	1	100.0%	以上						0	0	18	100.0%	以上					

区市町村 (No)	分析	対策1		対策2		対策3	集計作業(精検受診率)		
		精検結果把握の方法について 対策	都への要望	精密検査を受けていない集団、 また受けたい理由について 明らかにし、それに対する対策	都への要望	精検結果把握の方法について 特別な対策	精検受診率 把握	性・年齢 階級別	検診機関別
55	・精密検査先病院が把握できない。	・島という環境で上京受診となる。本人へ 事後後追い確認していく。検査委託先は 医療実施なしのため、他医療機関の受診 が必要となる。					○		
56							○		
57									
58	・検診実施機関、精検実施機関との情報 提供体制ができていない。	・電話及び訪問による個別アプローチ。					○		
59	・検診実施機関、精検実施機関との情報 提供体制ができていない。	・情報提供体制を整える必要がある。							
60	・情報提供体制はできているが、国への 報告時期までに、精検結果について情報 が得られない。	・精検者に対し受診状況及び結果の報告 を依頼する。					○	○	
61	・検診実施機関、精検実施機関との情報 提供体制ができていない。								
62						・検診機関が一機関のみである。	○	○	○

区市町村 (No)	集計作業(精検受診率と受診勧奨)				集計作業(精検結果未把握率)			6 がん発見率 (喀痰+胸部エックス線併用)			6 がん発見率 (喀痰細胞診のみ)			6 がんの発見率 (胸部エックス線のみ)			6 がんの発見率 (胸部X線+CT+喀痰細胞診)			分析
	精検 未受診率 把握	性・年齢 階級別	検診機関別	受診勧奨	未把握率 把握	性・年齢 階級別	検診機関別	がん 発見者数	がん 発見率	全国 比較	がん 発見者数	がん 発見率	全国 比較	がん 発見者数	がん 発見率	全国 比較	がん 発見者数	がん 発見率	全国 比較	
55								0	0.00%	未満										・受診者数が少ないため。
56				○				0	0.00%	未満										・受診者数が少ないため。
57																				
58								0	0.00%	未満										・精検受診率が許容値と比較して低い。
59								不明	不明	不明										・受診者の年齢階級で、有病率の低い年齢階級の受診者が多い。 ・初回受診者(過去3年以内に各がん検診の受診歴のない者)が少ない。 ・人口が少ないのでがん発見率が低くなる。
60								2	0.07%	以上										
61								不明	不明	不明										・対象者・受診者が極めて少ないため。
62	○	○	○					1	0.45%	以上				4	0.26%	以上				

区市町村 (No)	集計作業(がん発見率)				集計作業(早期がん割合)				7 陽性反応適中度 (喀痰+胸部X線併用)		7 陽性反応適中度 (喀痰のみ)		7 陽性反応適中度 (胸部X線のみ)		7 陽性反応適中度 (胸部X線+CT+喀痰細胞診)		分析	集計作業(陽性反応適中度)			
	がん発見率 把握	性・年齢 階級別	検診機関別	受診歴別	性・年齢 階級別	検診機関別	受診歴別	陽性反応 適中度	全国 比較	陽性反応 適中度	全国 比較	陽性反応 適中度	全国 比較	陽性反応 適中度	全国 比較	陽性反応 適中度把握		性・年齢 階級別	検診機関別	受診歴別	
55	○						0.00%	未満									・受診者数が少ないため。	○			
56	○						0.00%	未満									・受診者数が少ないため。	○			
57																					
58	○						0.00%	未満									・がん発見率が低い。 ・精検受診率が低い。	○			
59							不明	不明									・がん有病率が高い年齢階級の受診者が少ない。 ・初回受診者(過去3年以内に各がん検診の受診歴のない者)が少ない。				
60	○	○					1.94%	以上										○	○		
61							不明	不明									・対象者・受診者・要精検者とも少ない。				
62	○	○	○				100.00%	以上			22.22%	以上						○	○	○	○

区市町村 (No)	課題等	備考	備考(点検表)	備考欄 (町村 5年分受診者数)
55	<ul style="list-style-type: none"> <li>対象年齢の検討</li> <li>検診機関精度管理の検討(喀痰細胞診)</li> <li>要精検受診結果の把握</li> </ul>			393
56	<ul style="list-style-type: none"> <li>対象年齢の検討</li> <li>がん検診の必要性周知と受診率の向上</li> <li>喀痰細胞診の対象検討</li> <li>一次検診受診時の説明</li> <li>データの蓄積</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>過去3年間分(H18・19・20年度)の結果を集計</li> </ul>		217 (3年間分受診者数)
57	《未実施》			
58	<ul style="list-style-type: none"> <li>検診機関精度管理の検討(撮影・喀痰細胞診)</li> <li>喀痰細胞診の対象検討</li> <li>一次検診受診時の説明</li> <li>要精検受診結果の把握</li> <li>受診者特性の検討</li> <li>データの蓄積</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>過去4年間分(H17・18・19・20年度)の結果を集計</li> </ul>		1158 (4年間分受診者数)
59	<ul style="list-style-type: none"> <li>対象年齢の検討</li> <li>喀痰細胞診の対象検討</li> <li>要精検受診結果の把握</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>精検結果未把握</li> </ul>		182
60	<ul style="list-style-type: none"> <li>喀痰細胞診の対象検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>精検受診把握の情報提供体制はできているが、報告時期までに情報が得られない</li> </ul>		3031
61	<ul style="list-style-type: none"> <li>がん検診の必要性周知と受診率の向上</li> <li>検診機関精度管理の検討(喀痰細胞診)</li> <li>要精検受診結果の把握</li> </ul>			95
62	<ul style="list-style-type: none"> <li>検診方法の検討</li> <li>がん検診の必要性周知と受診率の向上</li> <li>喀痰細胞診の対象検討</li> </ul>			胸部エックス線及び喀痰 221 胸部エックス線のみ 1531